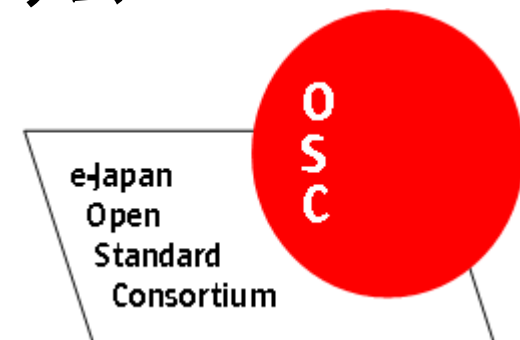


e-Japan基盤改革セミナー・ 鹿児島

「地域主導で実現する、 オープンスターダードによるIT基盤改革」

e-Japanオープンスターダードコンソーシアム
www.ejapan-osc.jp



OSC推進メンバー



サン・マイクロシステムズ



日本AMD



日本オラクル



シマンテック



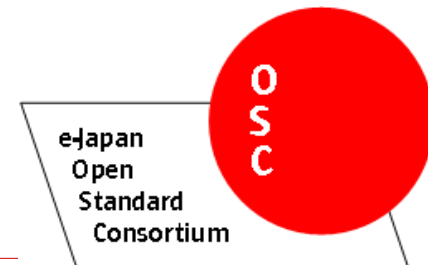
ミラクルリナックス



SAPジャパン



ベリングポイント



日本のIT環境の実態

- IT投資額は世界で米国についで2位
- ブロードバンド品質と低コスト化は世界で1位
- 電子政府進捗度、世界で8位
- レガシーシステムへのIT投資が膨大（政府・自治体・医療・金融等）
- 高度IT人材をアジア・インド等へ求める傾向

電子政府 利用進まず （日本経済新聞11月8日朝刊一面）

現在ネットで申請できる手続き
約1万3000種類

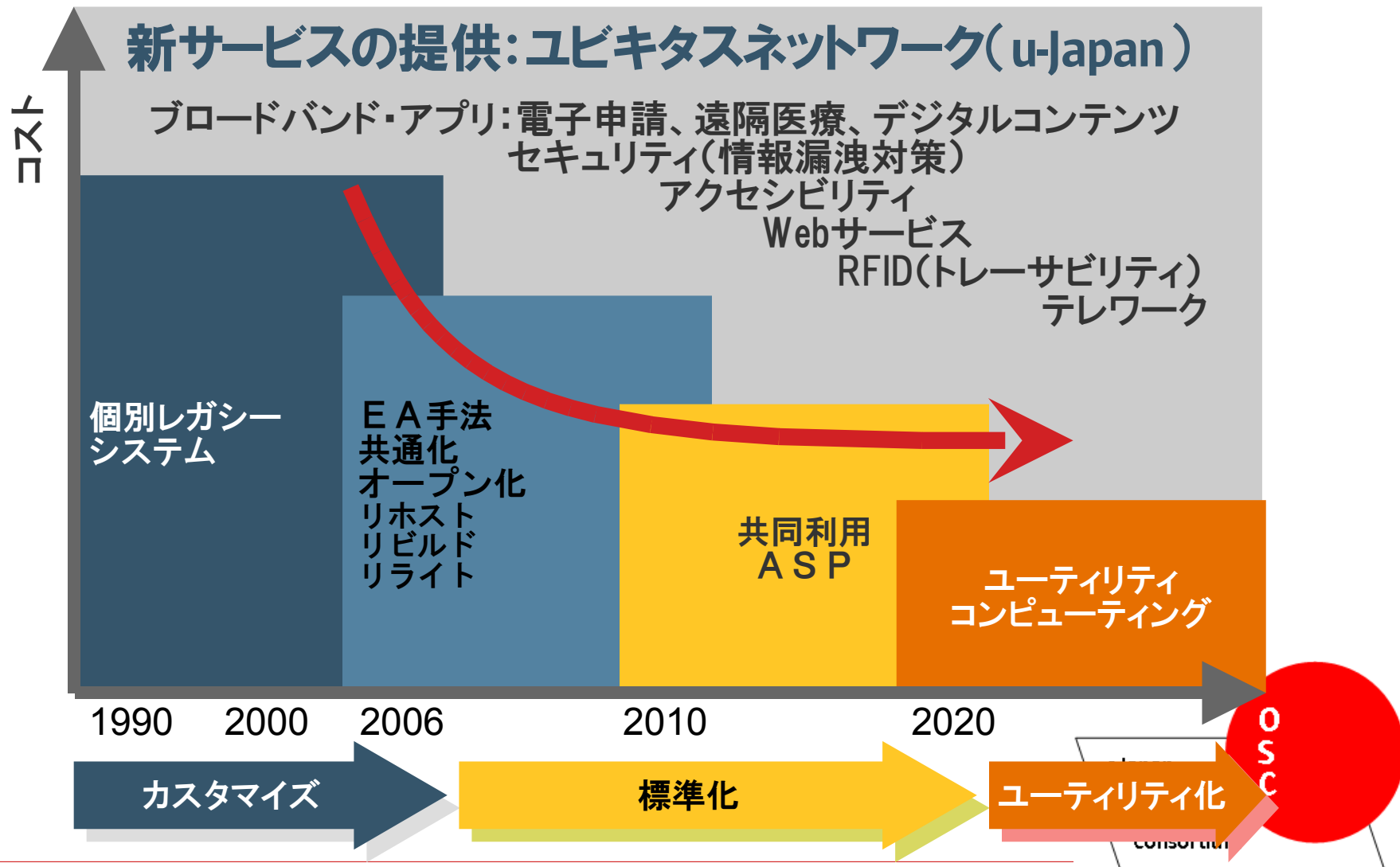
04年度の利用率

・0%	:40%
・1%未満	:80%
・50%超	:16種類

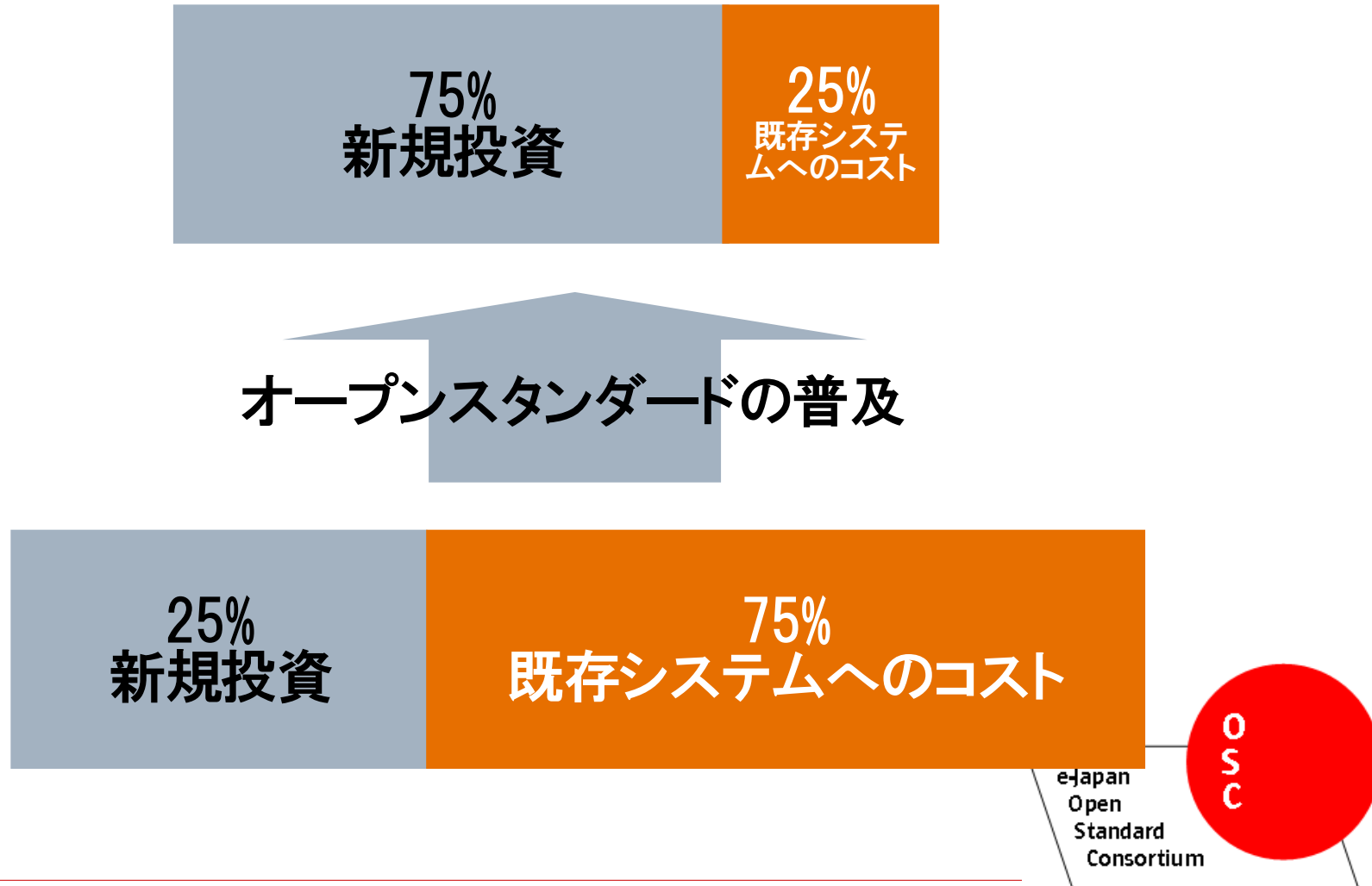
使われない理由

- ・費用
- ・使い勝手の悪さ

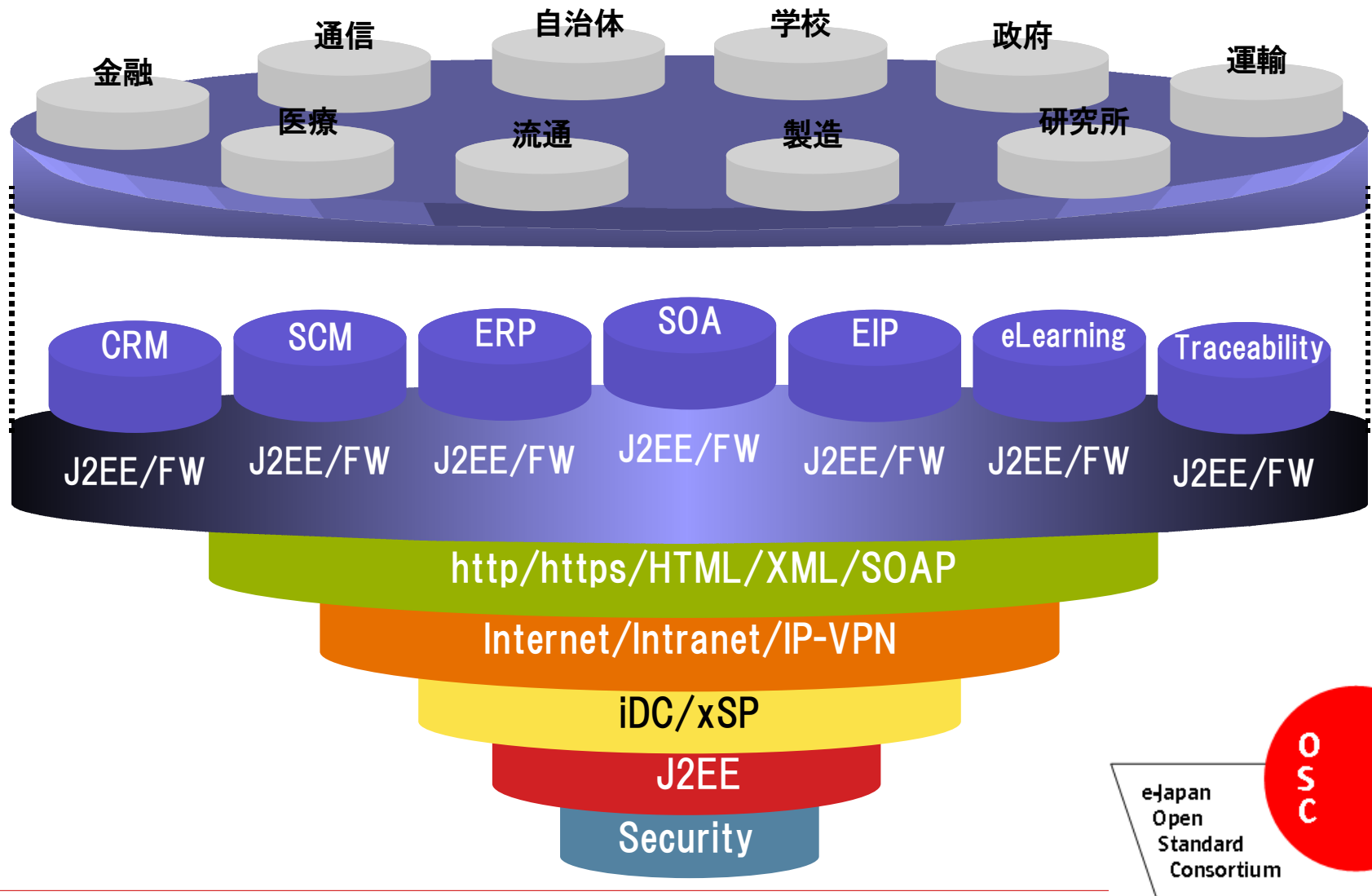
技術革新がもたらすコスト構造改革とサービス志向へのシフト



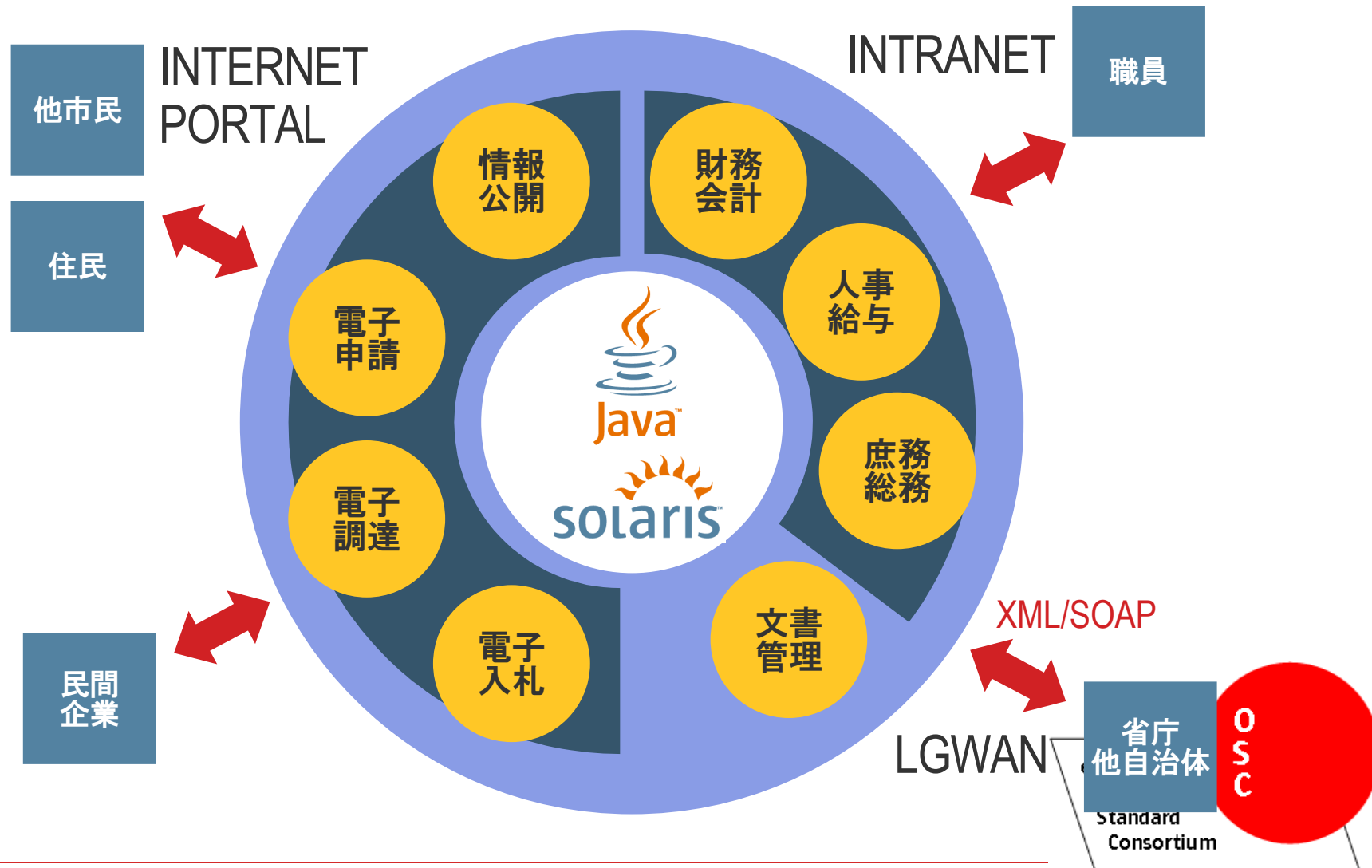
変革が必要な投資対象



e-Japan=ネットワーク社会



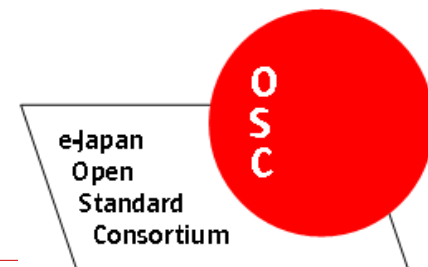
e-Government(電子政府・電子自治体)



OSC設立の目的

- 官公庁・自治体業務の効率化
- 行政サービスの向上
- IT人材の育成や地域のIT産業の活性化

- 目的達成のために・・・
 - オープン化、オープンスタンドアードの普及
 - コスト構造改革(TCO削減)の推進支援
 - Javaフレームワークの普及
 - 地域IT人材・ベンダーの育成支援
 - パラダイムシフトの推進



オープン化で何を変革し、実現するか？

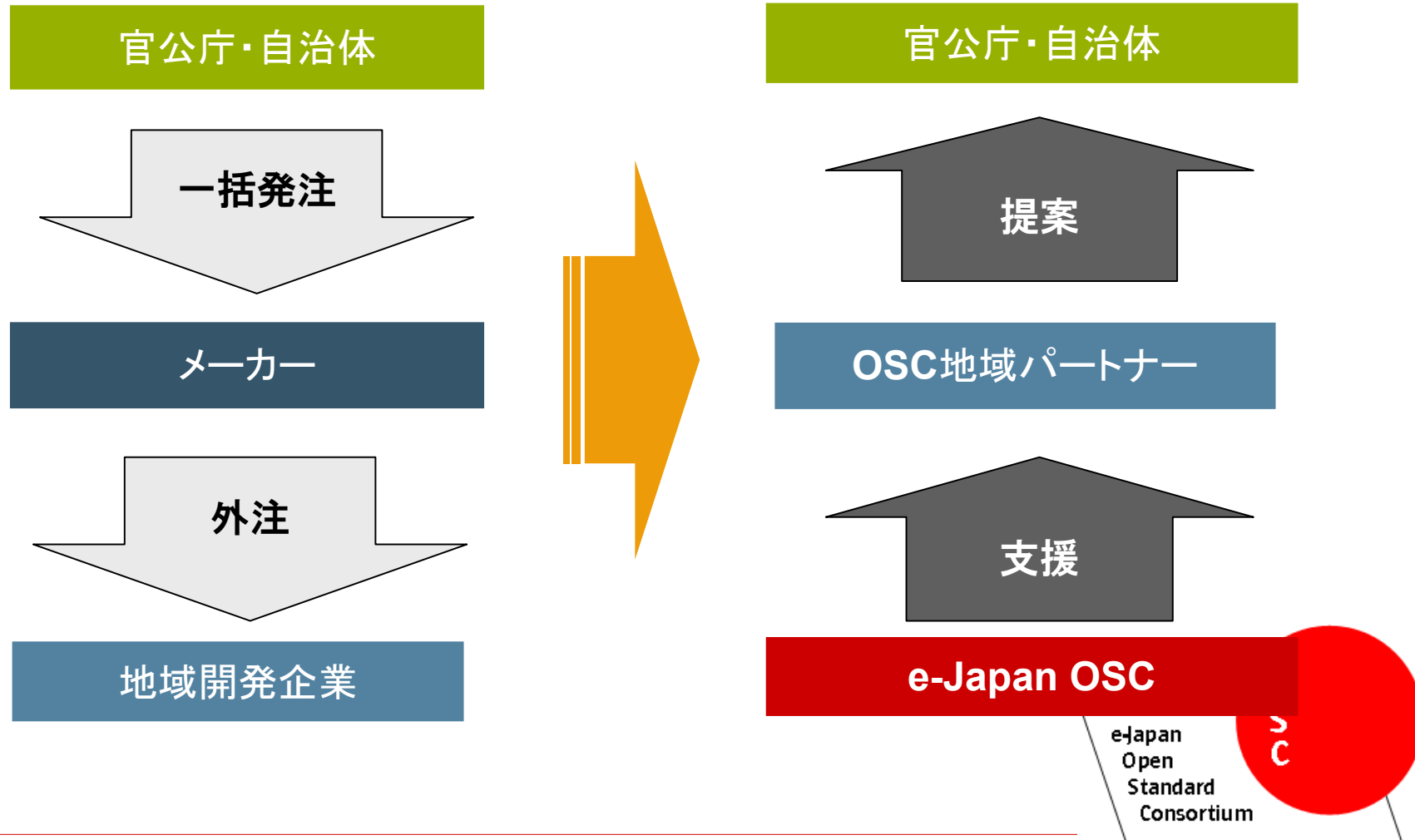
何を変革するか？

- ベンダー依存による随意契約の撤廃
 - ⇒戦略的複数年契約へ
- 極度な安値入札の防止
 - ⇒プロジェクト単位での適正利潤
- 大手依存体質の排除
 - ⇒中小(地域)インテグレータ,ソフトハウスの参入機会の創出
- IT 担当者の属人的依存の排除
 - ⇒自治体IT担当者の本質的IT知識の向上

何を実現するのか？

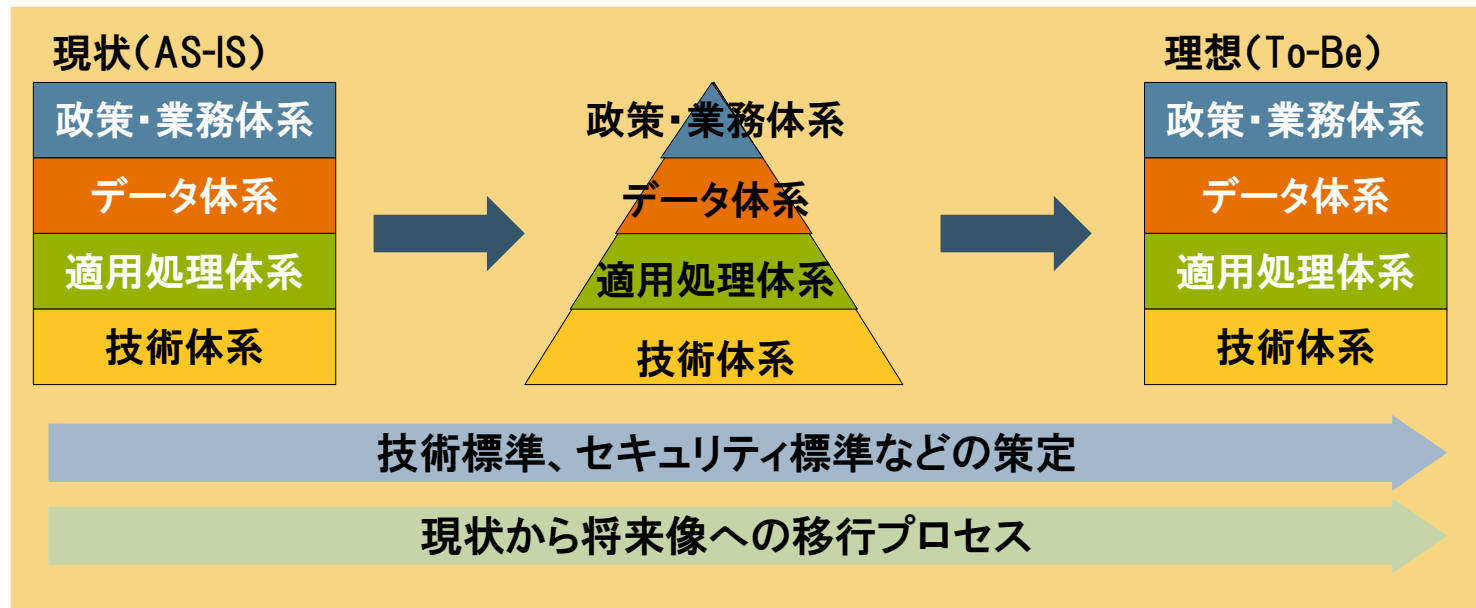
- コスト構造改革(TCOの大幅な削減)

オープン化による変革



コスト削減を図れるEAとは

□ EAとは全体最適を図る方法論



EAによってTCO削減を図る

- IT調達方法論の改革
 - 部分最適による重複開発を抜本改革する
 - 全体最適を前提に再考する
 - そのためにEAを導入する
 - 共通のTRMを採用する
- 特定ベンダー依存体質の改革
 - ブラックボックスによるベンダー抱え込みから脱却する
 - オープンスタンダードを前提に考える
 - JavaによつTRM開発
 - TRMはユーザが所有する

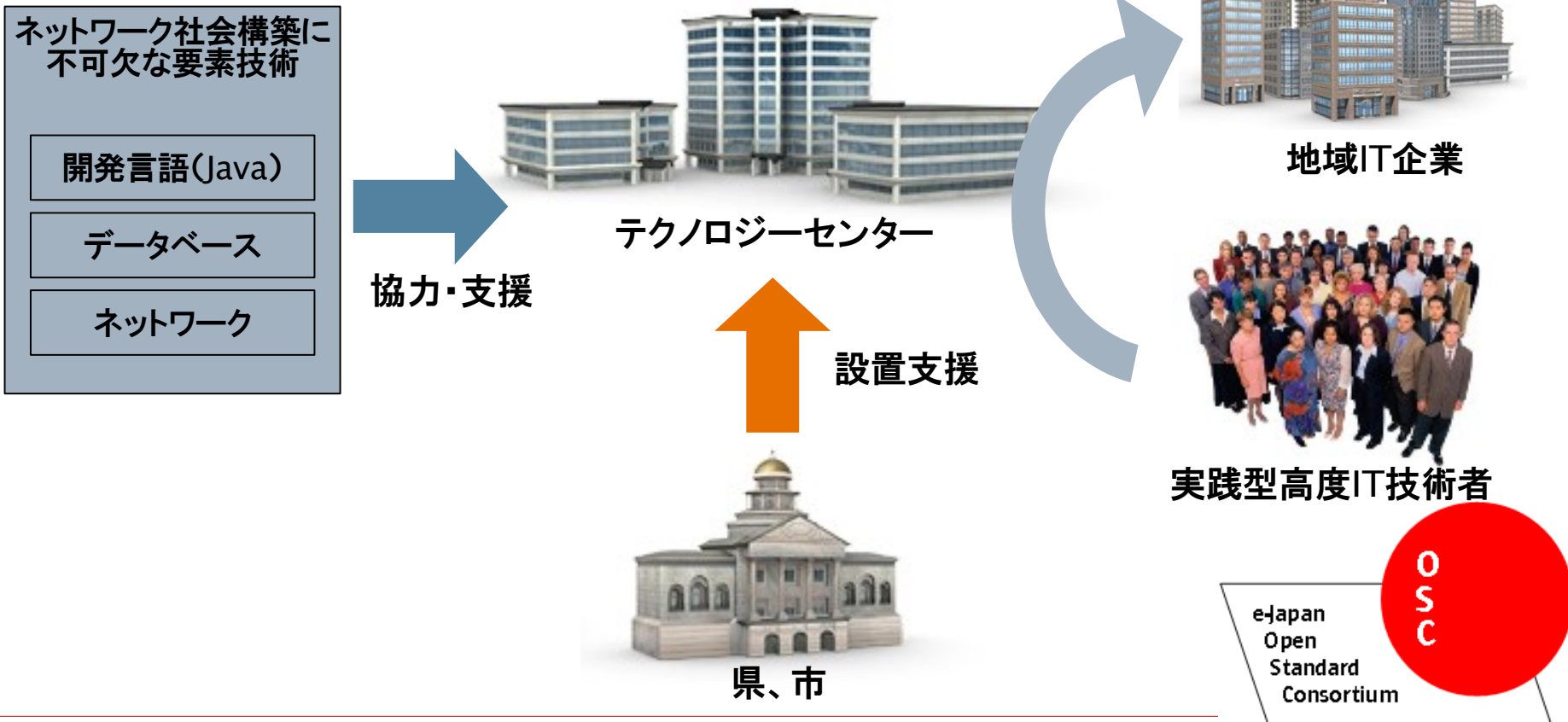


- EAをユーザのものにして、TCO削減を

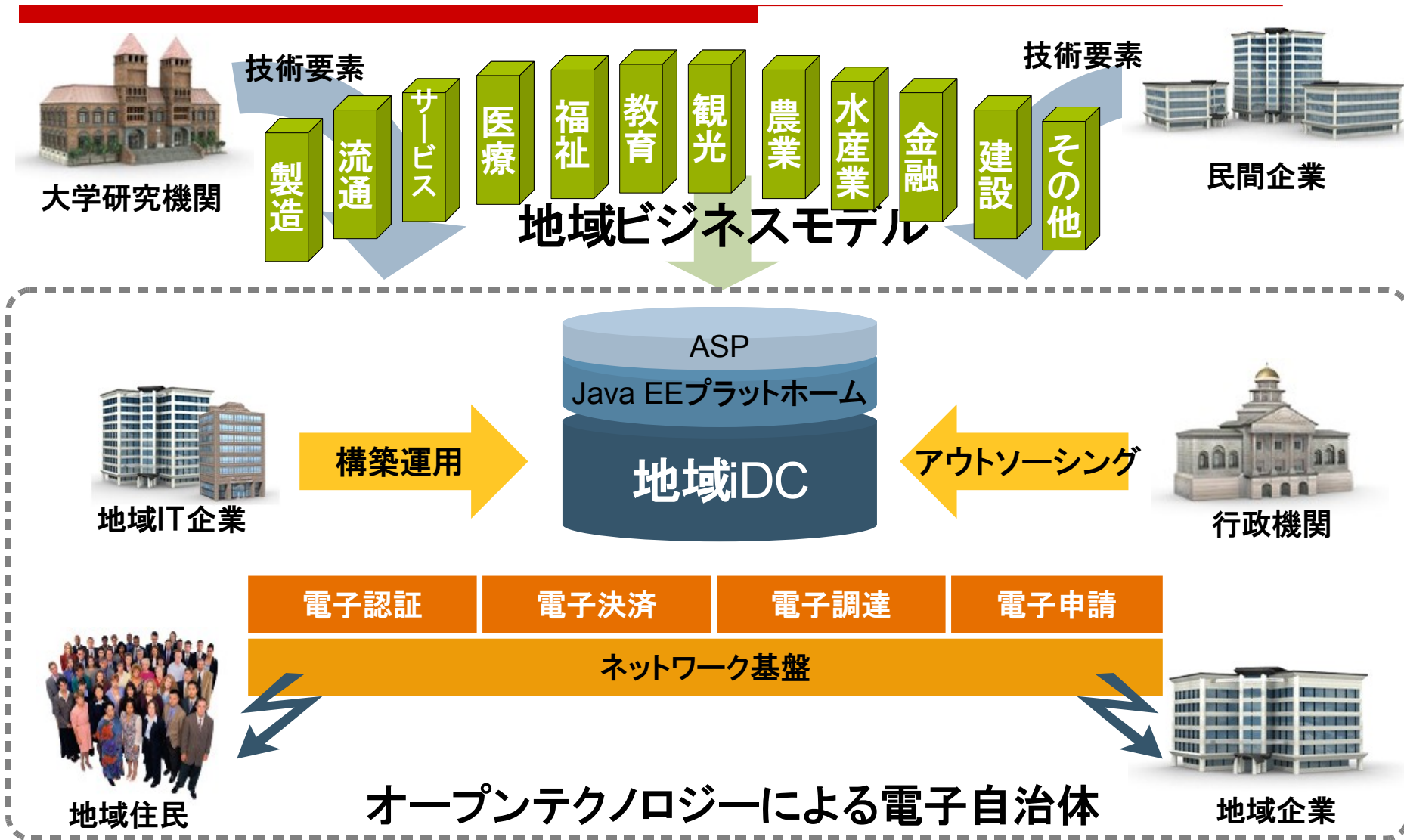
Javaテクノロジーセンター

地域における実践型ソフトウェア開発技術者の養成・連携機関

- ・標準技術保有企業が支援する先端IT技術の習得
- ・修了生のネットワーク化による多様な受注スキーム構築



地域自治体活性化に繋がる電子自治体構築



OSCが提案する協業モデル

